

朝来市総合計画審議会 第5回 会議録

- 開催日時 日時 令和7年6月23日（月）13:00～14:30
- 開催場所 朝来市役所4階 401・402 会議室

○ 出席者の氏名

	出席者	欠席者
委 員	岡 田 絵 美	絹 卷 泉
	草 郷 孝 好	篠 原 佳 也
	小 島 公 明	下 口 光 子
	篠 岡 昌 代	中 島 しのぶ
	中 島 英 樹	中 西 光 彦
	西 垣 佳 生	西 村 順 二
	羽 渕 真 奈	吉 原 剛 史
	藤 原 真 紀	
	村 上 和 男	
	山 下 太 一	
事務局 (企画総務部総合政策課)	理事兼企画総務部長 澤 田 学	
	企画総務部次長 世 木 敬 史	
	課長兼政策係長 和 田 幸 司	
	課長補佐兼創生企画係長 藤 本 晋 也	
	上席主査 小 山 亮 介	

- 傍聴者 なし

○ 会議

1 開会

定刻になりましたので、第5回朝来市総合計画審議会を開催します。

2 あいさつ

草郷会長

皆さま、こんにちは。昨年8月から始まった審議会も、いよいよ本日が最終回となりました。これまでの5回の会議を振り返ると皆様から本当にたくさんの御意見をいただいたと改めて思います。これまでの御議論を踏まえ、前回・前々回にいただいた御意見をもとに、事務局にて修正事項を整理し、総合計画

の改訂版を作成いたしました。今回の改訂版は、審議会の皆様と共に総合計画の方向性を見直し、具体的な形にしてきたものであります。文章としてまとめていく作業以上に、直接、市民の皆様と市の職員の皆様が、深く対話を重ねながら決めてきた、そのプロセスこそが非常に意義深いものであったと感じております。本日、皆様と作り上げてきたこの改訂版を、答申という形で藤岡市長へ提出させていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 第3次朝来市総合計画改訂版の改訂内容について（共有）＜資料1、2＞

第3次朝来市総合計画改訂版（第1章及び第2章、基本計画）について改訂内容を説明。

4 答申書の提出について＜資料3、4＞

会長から市長へ答申書を提出。全委員よりコメントをいただいた。

(1) 全委員からのコメント

委員	コメント
委員①	この度は、皆様本当にお疲れ様でした。審議委員として関わらせていただいた期間中、様々な会議で皆様と出会い、意見を交わすことができたのは、自分にとって大きな財産になったと感じています。 議論を重ねていく中で、「朝来市がこれからどうしていくのか」という方向性が、だんだんと言語化され、特に、若者の視点を取り入れていくことの重要性を改めて感じました。 私自身、和田山高校で地域コーディネーターとして活動しているのですが、高校生に将来のことを聞くと、多くが「地域の外に出たい」と答えます。それはもちろん否定できるものではありませんが、いずれまた帰ってきたいと思えるような地域であること、そして朝来市の魅力が一つでも伝わるように頑張ることが私たち大人の役目ではないかと改めて感じました。本当にありがとうございました。
委員②	この度はありがとうございました。緊張しながら審議会に参加させていただきましたが、朝来市が市民の声を市政に真剣に取り入れようとしているということを感じました。普段なかなか書面に目を通す機会は少ないですが、総合計画の冊子に書かれていることが、こういうことだったんだと改めて教えていただいたと思います。 文字がたくさん書かれた書面は普段なかなか読み込むことはありませんが、日々障害や福祉の分野で携わる中で、朝来市の行政の皆様がこんなことを大切にしているんだ、ということがわかり、他の方にも分かりやすく噛み砕いてお伝えしたり、相談しにいけるような関係性、顔が見える関係性ができたのも、とてもよかったと思います。

	自分の専門分野以外のことについてもお話しさせていただく機会があり、私自身にとっても学びの場になりました。ありがとうございました。
委員③	今回、初めて審議会の委員としてお誘いいただいて、正直、自分でいいのかなと思いつつも、勉強させていただくつもりで参加させていただきました。参加する中で、等身大の自分で参加しようと感じるようになり、みなさんとなつなげることができ、こんなふうに関心していることを率直に発言してもいいんだ、と気づけたのも学ばせていただいたと感じます。審議会を通して、朝来のことを以前よりもっと好きになりましたし、これからも、子どもたちが「帰ってきたい」と思えるようなまちづくりに、自分自身ももっと頑張っていきたいと思いました。
委員④	普段はダンスインストラクターや、国際教育の取り組みで学校にお邪魔するような活動をしています。今回は「勉強させていただきたい」という気持ちで審議会に参加しました。嬉しかったのは、率直な意見をたくさん言わせていただきながら、正直、意見を言うだけで本当に聞いてくれるのかなと半分疑っていた部分もあったのですが、例えば、先日の対話で発言の中で、生き物図鑑の取り組みについて「子ども園にも知らせたらきっと面白がってくれると思う」と発言したところ、早速お手紙と生き物図鑑を配布してくださいました。一つの意見も大切に、文字にするだけでなく、できることからかたちにして行動して下さった市の職員の方がいてくださり、嬉しかったですし、とても感謝しております。ちゃんと聞いてもらっている、受け止めてもらっているという実感があり、本当に嬉しかったです。 これからも、一市民として、できることを一つずつやって、よりよい朝来市を一緒につくっていきたくと思っています。これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。
委員⑤	普段は生野地域自治協議会の事務局を担っております。良い改訂版になったと思っています。目標である「人と人がつながり 幸せが循環するまち」を目指していけたらと思っています。 大切なのは、計画をつくって終わりではなく、それをどう実現していくかということです。以前、神戸の震災復興に携わった際に、「プランよりもプログラム」という言葉がとても印象に残りました。計画をつくった後、目標に向かってどうプログラムしていくかが非常に重要であると、自治協として活動しながら常に感じています。 今回の改訂があり、ここからが始まりだと思います。住民のみなさんと一緒に、「人と人がつながり 幸せが循環するまち」に向けて取り組みを進めていけたらと思います。本当にお疲れ様でした。

委員⑥	審議会の委員として参加させていただく上で、もともとは不得意な分野だと感じていましたが、議論を重ねる中で、仕事にも生かせるような内容が多く、大変勉強になりました。 また、一個人としても、地元に戻って村で何か活動できることがあるのではないかと考えるきっかけにもなりました。この度は本当にありがとうございました。
委員⑦	皆様、長い間お疲れ様でございました。個人的なことで恐縮ですが、朝来市、特に生野町とはこれまで御縁があり、今年で勤務 41 年を迎えますが、勤務の 4 分の 1 が生野支店でした。生野町は、かつて鉱山で栄えた町であり、外から来た人を温かく迎える文化が根付いています。私自身も、大変親切にいただき、楽しく仕事をさせていただきました。20 年前に 4 町が合併して朝来市となりましたが、高齢化や人口減少が進む中でも、住民一人一人が地域や人とのつながりを持ち続け、安心して暮らし続けられるまちであってほしいと思っています。 朝来市の一番の強みは、地域力だと思っています。地域自治協や自治会の活動も活発であり、こうした取り組みが、市民のウェルビーイングを高める源になっていくと感じています。 今回、皆様と一緒に総合計画の見直しを行い、後期 4 年間の方針が出てきました。絵に描いた餅で終わらせるのではなく、しっかりと検証しながら進めていければと思います。 朝来市職員の皆様、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
委員⑦	普段は大阪で働き、朝来市とは ICT のアドバイザーとして関わらせていただいております。普段とは異なる分野での議論ということもあり、緊張しながらの参加でしたが、皆様とは違った視点でお話しできたかと思います。朝来市の職員の皆様が市民の声をしっかり聞きながら、まちづくりに取り組もうとされている姿勢が印象的でした。 計画というものは、ここからがスタートだと思っています。素晴らしい計画をつくっても、その通り進んでいかないという例も見てきております。実行の部分こそ大切だと思いますので、これからも見守っていきたいと思っています。ありがとうございました。
委員⑧	農業に従事しており、米農家として活動しています。 学生時代は県外で過ごし、一度はそこで就職が決まりかけたものの、地元・朝来市に戻ってきました。戻ってきてほっとした気持ちがあり、学生時代の数年間と比べて、改めて朝来市の良さを実感しています。 現在、農業研修生を受け入れる中で、若い方に朝来市の良いところを尋ねたところ、たくさん挙げていただき、自分の中では忘れかけていた地元の良さを改めて教えていただきました。

	これからも、朝来市が好きな気持ちを持ち続けるだけでなく、研修生や有志の方々、農業移住者の方もたくさん来られています。そういった方々が自信を持って朝来市に住むことの良さを語れるようなまちになってほしいと思うと同時に、私たち一人一人が朝来市に対して誇りを持っていけるようなまちになれたらいいなと思っています。これからもよろしくお願いいたします。
草郷会長	皆様一人一人に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。 私と朝来との御縁は長く、十数年前に竹田城や生野銀山のある栃原での調査を行い、その後、但馬県民局と共に長期ビジョンづくりや、そのビジョンを実際にどう生かすかという取り組みに関わってからになります。当時、特に印象的だったのは、50～60 人が集まり但馬の将来像を真剣に話合った時、朝来から参加した方々の話を聞いていたら、朝来はとても幸せなまちなのだと感じられたことでした。 第 3 次総合計画の策定から、みんなでまちをよくして、生き生きと暮らせるまちづくりを行なっているということを深く追求しないとイケないと考えて取り組んできました。そして、今回の改訂版まで関わらせていただき、若い人の視点が大切だということを改めて確認できたこと、また、具体的に何ができるかという優先順位についても整理できたことをありがたく思います。 計画ができると、「ここから自然に道ができる」と誤解しがちですが、既成の道があるのではなく、「まちづくりの後に道ができていく」と思っています。まちの未来の道をみんなで作っていきける、そんな朝来市を期待しています。朝来市は仕組み化がしっかりとできているまちだと感じます。皆様はお気づきでないかもしれませんが、朝来市のこうした仕組みは非常に珍しく、今後は他の市からも注目されるのではないかと思います。これからは「1 にしあわが循環するまち」「2 に他のまちに朝来の取り組みからの学びが広がること」を目指していきたいです。 最後に、私は朝来市民ではありませんが、もし第 2 住民票のようなものができたら、ぜひ第 1 号になりたいと思います。 市役所の階段を登ってくるときに「日々の意識で健康を」と書いてありましたが、その言葉にかけて「日々の意識で ASAGOiNG なまちづくりを」という言葉で締めくくらせていただきます。改めまして、皆様お疲れ様でした。

(2) 藤岡市長あいさつ

暑い梅雨の時期で足元の悪い中、こうしてお集まりいただき誠にありが

とうございます。草郷会長をはじめ、委員の皆様には、5回にわたり慎重な審議をいただき、施策全般にわたって御尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。また、朝来市に何らかの形で関わりのある皆様から貴重な御意見を賜り、重ねて御礼申し上げます。

総合計画がスタートしてからのこの4年間は、コロナ禍で外出や活動が制限されるという厳しい状況の中、ようやく活動が再開できるようになり、時代が大きく動きました。答申の内容にあるように、「人と人がつながる」ことを実現し、市民の皆様が幸せを実感できるまちづくりを着実に進めてまいります。

審議会や職員プロジェクトチーム、あさご未来会議で御意見をいただき、今回の改訂にあたって追加された若者の視点に加えて、さらに女性の視点も非常に重要だと考えております。全ての世代の皆様が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちの実現に向けて、これまで以上にしっかりと取り組み、さらなるスピード感を持って進めてまいります。

引き続き、御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。皆様の健康とますますの御活躍を心よりお祈りいたします。

5 これからに向けた対話

アクションにつながるアイデアについてグループ対話を行った。

①全体の進め方・流れの説明

グループ対話の全体の進め方、流れについて説明を行った。

②3班に分かれてグループ討議

各自で付箋に記入。

- 付箋ブルー：足りない視点
- 付箋イエロー：どうすれば「しくみ」がうまく機能するか
- 付箋ピンク：すでに朝来にあるアクションや人

付箋に書いたことをグループ内で共有、対話。

③全体発表

各グループから対話の内容について発表を行った。対話の内容は、別紙の通り。

④総括

草郷会長

今回の対話を聞きながら、手弁当で集まる未来会議のような場が、もっと広がっていいんじゃないかと感じました。「しくみ」の中でマイスターという話もありましたが、ASAGOiNG な人たちが増えていくことが大切であり、マイスターに認められることが「これこれをしっかりやらなければならないこと」ではなく、「まちにこんな人がいる」と、朝来市のみなさんが気づいていくことから、ASAGOiNG なまちづく

りが自然と始まっていくのだと思います。みんなが声を掛け合い、支え合っていくことで、素敵なまちになっていくと思います。

また、取り組んでいる人だけが素晴らしいのではなく、高齢者の方々がこれまでの暮らしを語ってくださることや、高校生がアイデアを生み出していくことも、まちづくりには欠かせません。

この審議会のメンバーである皆さまは、まさに「ASAGOiNG なマイスター」の大切な仲間です。

次回以降は、さらに深いかたちで皆さまに参加していただければと思います。

これらの取り組みは、ずっとメンバーの皆さまのお声掛けから広がってきたものであり、皆さまの御尽力の賜物です。心より感謝申し上げます。

5 その他

次回の会議開催日程を連絡。

- ・ 7月中旬 パブリックコメントの実施
- ・ 9月議会 第3次朝来市総合計画後期基本計画を提案
- ・ 10月下旬から11月中旬 まちづくりフォーラムにて報告

6 閉会

事務局

皆様、本日は大変お疲れさまでございました。昨年夏から総合計画審議会において、皆様に支えていただき、1年間お世話になりましたこと、誠にありがとうございました。

7月に入りますと、パブリックコメントの期間となり、市民の皆様に計画案を示し、御意見をいただく予定です。ぜひ周囲の方々にも「ちょっと見てみて、意見をください」とお声がけいただければ幸いです。その後、9月の議会に提案し、10月には正式に決定される見込みです。また、11月頃にはまちづくりフォーラムを開催し、自治協単位で新たな制度について説明をさせていただく予定でございます。総合計画もそのテーマの一つとして含まれておりますので、参加いただけますと幸いです。

それでは、以上をもちまして、総合計画審議会を閉会とさせていただきます。皆様、長い間誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

署名

令和7年7月 日

朝来市総合計画員議会 会長

朝来市理事兼企画総務部長